# 横浜市地球温暖化対策計画書制度

# 計画書等作成マニュアル

【1.2 号該当事業者用】

横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局脱炭素マネジメント課

## 目次

第1章	章 作成の概要	1
	1.1 作成する書類	1
,	1.2 作成の流れ	2
	1.3 各シートの説明	3
第2章	章根拠算定資料の作成	4
	2.1 昨年度情報の呼び出し	4
	2.2 基礎情報の入力	6
	2.3 エネルギー使用量の入力	8
第3章	章 計画書の作成2	4
第4章	章 提出書の作成4	0
第5章	章 評価の確認4	0
第6章	章 作成したデータ等の提出4	2

### 第1章 作成の概要

このマニュアルでは、地球温暖化対策計画(計画書)等の作成方法、提出方法を御紹介いたします。計画書や報告書の提出は、条例<sup>※</sup>に定められた義務です。期日(7月末)までの作成、提出をお願いいたします。

※横浜市生活環境の保全等に関する条例

#### 1.1 作成する書類

■ 提出様式(「2025keikaku\_youshiki.xlsx」)

#### ■ シートの構成

根拠算定資料

※『使用量 3』シートは使用しません。(第1,2号該当のみの事業者)



#### 計画書(計画期間:2025~2027年度)

※『計 4-2(3 号事業者用)』シートは使用しません。(第1,2号該当のみの事業者)



『計 5』シートより右側のシートは記入不要です。



1.2 作成の流れ



#### ■ 様式への入力ルール(セルの色分け) (黄色) 記入してください 」(白色) 昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定) セルに保護をかけているため書き換えはできません (緑色) 昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定) 変更がある場合は上書き修正してください 🦝 (灰色) 記入対象外です 【注 意】 緑色のセルには参照式が入っています。 一度、新しい値を入力すると参照式は消え、 新しく入力した値に置き換わります。 入力値を消しても、前の値(参照式)には戻りません。

## 1.3 各シートの説明

シート名	シートの概要
はじめに	事業者IDを入れ、過年度提出データを様式に表示させます
使用量_1,2	エネルギー使用量を入力して、CO2排出量、エネルギー消費原単位を算定します
外部供給	他者へのエネルギー供給が有る場合のみ 入力が必要です
電力会社	小売電気事業者を検索して、排出係数を調べます(入力不要)
ガス会社	ガス供給事業者を検索して、排出係数を調べます(入力不要)
熱供給会社	熱供給事業者を検索して、排出係数を調べます(入力不要)
係数	<u>燃料などの排出係数等を変更する場合のみ</u> 使用します

シート名		項目
計1	1 2 3	地球温暖化対策事業者等の概要 計画期間 温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針
計2	4 5の1	公表の方法 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等
計3	6 7 8	クレジット等の取組状況及び計画 設備の新設、更新等の計画 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況及び計画
計4-1	9の1 9の2	基本対策の実施状況及び計画 ! 重点対策の実施状況及び計画
計5	1 2	事業所等の概要 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等

## 第2章 根拠算定資料の作成

### 2.1 昨年度情報の呼び出し

『はじめに』 シート

<b>横浜市地球</b> 沿 2025	<b>温暖化対策計画書制度 提出様式</b> 年度報告用(2024年4月〜2025年3月の実績)	
<昨年度情報の呼 ・あらかじめ割り振られ (入力することで、昨年 事業者ID下3桁	<sup>2</sup> び 出し > た事業者IDの 下3桁を入力してください。 ■度に提出頂いたデータが記入様式に反映され、入力項目が肖 999	川減します。)
事業者名称	株式会社 横浜	※昨年度報告の事業者名称が 表示されます。
過去データ修正有無	修正ありません (2)	
事業者の状況変更	変更ありません 3	

過去データ修正有無で「昨年度報告に修正があります」を選択した場合

		-	
過去データ修正有無	昨年度報告に修正があります	•	※昨年度報告に修正がある場合には、記
			入を進めず、まず、市にこ連絡下さい。

#### 事業者の状況変更で「事業者名称等に変更がありました」を選択した場合

事業者の状況変更	事業者名称等	等に変更がありました 3-1
緑色のセルで変更が あった項目を修正して 下さい	新事業者名称 新代表者氏名 新所在地	◆ 株式会社 横浜 代表取締役社長 横浜 太郎 神奈川県横浜市○○区××町■-△

### 2.1 昨年度情報の呼び出し

#### 『はじめに』シート

 事業者 ID 下3桁 黄色セルに事業者 ID 下 3 桁を入力してください。
 昨年度報告データが報告書等に緑色で表示され、入力が不要なセルは灰色で表示されます。
 事業者 ID は右下のリストから選択して下さい。
 新規事業者は空欄にして下さい。

#### ② 過去データ修正有無

初期値として「修正ありません」が表示されます。 修正が必要な場合は「昨年度報告に修正があります」を選択して下さい。 ※昨年度報告に修正がある場合は作成を中断し、市にご連絡ください。

#### ③ 事業者の状況変更

初期値として「変更ありません」が表示されます。 「事業者名称等に変更がありました」を選択すると、新名称等の入力欄が表示されま す。

③-1 変更があった項目を上書き修正してください。

## 2.2 基礎情報の入力

『使用量 1,2』シート

1 基礎情報

二酸化炭素排出量算定表(1号、2号用)エネルギー使用量入力表	20
1 基礎情報	
(1) <u>他者会のエネルギー供給(販売)が有る場合</u> は、「無し」→「有り」に変更してください。 	
(2) エネルギーの集計対象となる横浜市内の事業所等の数を入力してください。	
エネルギー集計対象の事業所数 10 2000 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
うち、原油換算エネルギー使用量が500kl 以上の事業所数 8 - 8 - 500kl 未満の事	業所数 2
▲ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	
● 事業者全体で統一の原単位を使用する	してい
(4) 横浜市内で保有している自動車が無い場合は、「有り」⇒「無し」に変更してください。 有り 「有り」	
2 エネルギー使用量	
	L

### 2.2 基礎情報の入力

#### 『使用量 1,2』シート

#### 1 基礎情報

- 他者へのエネルギー供給(販売) 初期値として「無し」が表示されます。 他者へのエネルギー供給(販売)がある場合は、「有り」を選択してください。 ※「有り」を選択した場合は、『外部供給』シートの入力が必要です。 ⇒本マニュアル 18、19ページ参照
- ② エネルギーの集計対象となる横浜市内の事業所等の数 事業所数は、昨年度情報が自動表示されます。 変更がある場合は上書き修正してください。
- ③ 総括票の原単位設定 エネルギー消費原単位の設定について、以下のいずれかを選択してください。 ・事業者全体で統一の原単位を使用する。 ・原単位の寄与度の合計から求める。
- ④ 横浜市内で保有している自動車の有無
   初期値として「有り」が表示されます。
   横浜市内で保有している自動車がない場合は、「無し」を選択してください。

新たに追加された項目

● 横浜市内で保有している自動車の有無

『使用量 1,2』シート

2 エネルギー使用量(化石燃料、非化石燃料)

2 ]	Cネルギー	D 一使用量	E	F	G	Н	I	J	К	L	M	N	0	P	
											_ <b>_</b>				
											1	2	· ( 1	<sup>3</sup> ) 4	
エネルギーの種類									横浜市内 合計	原油換算 エネル (※寄与度の 原単位の種)	500kl 未満の デー使用量 合計から求め 個UIIIのある	D事業所 合計 かる場合は、 マイエネル	原油換算5 事業所名を 入力1	00k  事業 入力	
									魚供	白動計算	ギー使用量	合計を入力し	てください)	<b>庐油捣</b> 筲	500
	原油(コンデ	ンセートを除く							+ <u>is</u> kL	0				21/1012-34	
	原油のうちコ	シデンセート(	(NGL)						kL	0					
	揮発油(ガン	リン)							kL	0	(2)	-		$(\mathbf{Z})$	-
	ナフサ	ith i							kL Li	0		•		$\vdash$	-
	灯油								KL KL	0			<u> </u>		+
	軽油								kL	0					
	A重油								kL	0					
	B·C重油	al L							kL	0	<b></b>				-
	石油アスノア	70r							t +	0	<u> </u>				-
	て油ガラ	液化石油力	jス(LPG)						t	ů 0					
		石油系炭化	ヒ水素ガス						Ťrnľ	0					
	可燃性	液化天然ガ	]ス(LNG) 制作王鉄ガラ						t ≠n²	0				-	
	A RAILA		alt大/0月人 長						T m	0					
		コークス用	原料炭						t	Ő					
	石炭	吹込用原料	炭						t	0					
		11111111111111111111111111111111111111	र #						t +	0					-
化工		輸入無煙炭	1						t	0	-				-
白戲	石炭コークス		-						t	0					
料	コールタール								t	0					
	ロークス炉刀 高幅ガラ	Χ							+m ∓m'	0					-
	発電用高炉	ガス							frnľ	ů.					
	転炉ガス					/54/10.00	/54/10.00		frnľ	0					
		登録番号+メ ニュー	ガス事業者名	基礎 tCO2/千m <sup>3</sup>	調整後 tCO2/千m <sup>3</sup>	(残左寺) 基礎 tCO2/千m <sup>3</sup>	(残左寺) 調整後 tCO2/千m <sup>3</sup>	単位発熱量 GJ/千m <sup>4</sup>							
	都市ガス1	<mark>40002</mark>	東京電力エナシー パートナー株式会 社	2.05	2.05	2.05	2.05	45.0	frn²	0	1				
	都市ガス2	0020, <del>%_ 1</del> ~A	東京瓦斯株式会社	2.05	0	2.05	2.05	45.0	frn°	0	<u> </u>				
	都市ガス3	<b>☆緑谷号</b> +メニュー	-		(3)			45.0	frn <sup>1</sup>	0					
	都市ガス4	<mark>2録み号+</mark> メニュー	_					45.0	frn°	0					
	都市ガス5	▲録存 <del>す+</del> メニュー						45.0	frnľ	0					
$\sim$	その他									0	1				
4`	)化石燃料									ŏ	1				
4								小計	-		1				
	黒波								t	0					-
	大質廃材								t t	0	<u>+</u>				+
	バオエマノ	ール							kL	0					
	バイオディ	ゼル							kL	0	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •				
	ハイオカス								1−m1	0	-				-
	RDF								t t	0					
非化	RPF								t	0					
石	廃タイト	与/	hán).						t	0				_	
燃料	<u> 廃ノフバナツ</u> 廃ブラスキッ	八一般廃業 ク(産業廃棄)	/////////////////////////////////////						t t	0					
44 1	廃油								kL	<u> </u>					
	廃棄物ガス								Ťrnľ	0					
	戒 古 廃 材   水 表								t t	0	-				
		¥							t	ŏ					
	1/26-/								_		-			_	_
	/ ノヒ <u>_</u> / その他								GJ	0	•				

#### 『使用量 1,2』シート

- 2 エネルギー使用量(化石燃料、非化石燃料)
- ① 原油換算 500kL 以上の全事業所の名称を入力してください。(28行目 P列以降)
- ② 市内事業所のエネルギー使用量を入力してください。
- ②-1 原油換算 500kL 未満は<u>まとめて</u>入力してください。
   ※排出原単位(寄与度)を設定する場合は、原単位の種類ごとにグループ化した合計 値を入力してください。
- ②-2 原油換算 500kL 以上は それぞれ 入力してください。
- ③ 都市ガスの入力方法は、次ページで説明します。
- ④「その他化石燃料」、「その他バイオマス」、「その他非化石燃料」を使用している場合は、使用しているエネルギーの種類を入力してください。

新たに追加された項目 化石燃料 ● ジェット燃料油
<ul> <li>● 発電用高炉ガス</li> </ul>
非化石燃料
● 黒液・木材・木質廃材・バイオエタノール等
変更された項目
化石燃料
<ul> <li>● 石炭の項目を細分化(輸入原料炭・コークス用原料炭等)</li> </ul>

## 2.3 エネルギー使用量の入力 『使用量 1,2』シート及び『ガス会社』シート

2 エネルギー使用量(都市ガス)

## 『使用量 1,2』シート

В	C		L ガフ事業者タ	基礎 1002/手m3	」 調整後 1002/手m3	(残差等) 基礎 tCO2/手m3	」 (残差等) 調整後 tCO2/手m3	」 単位発熱量 GJ/手rci	ĸ	L	M	IN	0	
	都市ガス1	A0002	東京電力エナジー パートナー株式会社	2.05	2.05	2.05	2.05	45.0	∓mi	0				
	都市ガス2	A0020_XII = - A	東京瓦斯株式会社	2.05	0	2.05	2.05	45.0	Ŧm	0				
	都市ガス3	登録番号+メニュー					(	45.0	∓m°	0				
	都まガス4	登録番号+メニュー	2				3	45.0	∓m°	0	1			
Г	1 25	登録番号+メニュー						45.0	Ŧm°	0	<b>.</b>			
	その他 化石燃料									0				
								小計	-	0				
	<b>『ガス</b> ガス事業 ガス事業	<b>、会社</b> 。 <sup>義</sup> 者排出	<b>シート</b> 係数一覧】 出係数(特)	定排出:	者の温	室効果	 ガス排	出重算	(定用)	2025 )— R5 年	年度提出 度供給調	と用(2) ミ績ー	D24年度 R6.6.28	実績
[	『ガス ガス事業 ガス事業 登録:	<b>、会社</b> 者排出 者別排	<b>リシート</b> 係数一覧】 出係数(特)	定排出:	者の温	室効果 <b>ス事業</b>	ガス排 <b>ま名</b>	出重算	(定用)	2025 )- R5年 <b>基</b> 排出	年度提出 度供給調 確 係数	上用(2) ミ績一	D24年度 R6.6.28 調整 排出(	実績 環境 後数
	『ガス 【ガス事業 ガス事業 登録:	<b>ス会社。</b> 著排出 者別排 番号+メ:	<b>リシート</b> 係数一覧】 出係数(特) ニュー	定排出:	者の 温 ガ	室効果 ス <b>事業</b>	ガス排 <b>(者名</b>	出量算	(定用)	2025 )- R5年 (t-c2)	年度提出 度供給調 <b>確 係数</b> 2/fm3、 3/600	L用(2) 尾績-	D24年度 R6.6.28 調整 排出( (t-c022)	実環後 義 行 後 教 千 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
-	『ガス 「ガス事業 ガス事業 登録: A0002	<b>《会社。</b> 《者排出 《者別排 番号+メ:	<b>『シート</b> 係数一覧】 出係数(特) ニュー	定排出:	者の温 ガ カエナジ	室効果 ス <b>事業</b>	ガス排 <b>ミ者名</b> -トナーi	第重出 第一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	© 「 注 □	2025 ) R5年 基 排出 (t-coo 2	年度提出 度供給到 <b>確</b> 2/fm3、 2/fm3 2/	上用(2) ミ績- ▼	D24年度 R6.6.28 調整 排出( (t-co2/ t-co2/ 2.0	実積 環 <b>後教</b> (GJ)
	『ガス 「ガス事業 ガス事業 登録: A0002 A0020_メ	<b>ス会社。</b> 《者排出 《者別排 番号+メ: <sub>ニューA</sub>	<b>」シート</b> 係数一覧】 出係数(特) ニュー	定排出: 東京電 東京瓦	者の温 <b>ガ</b> 力エナ: [斯株式	室効果 <b>ス事業</b> ブーパー こ会社	ガス排 <b>ミ者名</b> -トナー <sup>i</sup>	出量算	·定用) 社	2025 )- R5年 算出 (t-co t-co 2 2	年度提出 度供給到 <b>使税数</b> 2/fm3、 2/fm3、 2/fu3) 05 05	L用(2) €績-	024年度 R6.6.28 調整 排出( (t-co2/ t-co2, 2.0 0.0	実績 環境 後 系 <b>千m³、</b> (GJ) 5 0
	『ガス事第 ガス事第 登録 A0002 A0020メコ	<b>ス会社。</b> <sup>〔</sup> 者排出 <sup>〔</sup> 番号+メ: <sup>□</sup> <sup>□</sup> <sup>□</sup> <sup>□</sup> <sup>−</sup> <sup>−</sup> <sup>−</sup> <sup>−</sup> <sup>−</sup> <sup>−</sup> <sup>−</sup> <sup>−</sup>	<b>」シート</b> 係数一覧】 出係数(特) ニュー ▼ 残差)	定排出: 東京電 東京瓦	者の 温 ガ 力エナ <sup>:</sup> ,斯株式 ,斯株式	室効果 <b>ス事業</b> ジーパー で会社 こ会社	ガス排 <b>ミ者名</b> -トナーi	発量出 第一世	©定用) ▼ 社	2025 )- R5年 掛出 (t-co) t-co 2 2 2 2	年度提出 度供給到 <b>礎</b> (係数 (/fm3, 2/Gu) 05 05 05	比用(2) ミ績- ▼	024年度 R6 6.28 調整 排出( (t-co2/ t-co2/ 2.0 0.0 2.0	実績 環 <b>後教 系チm<sup>3</sup>、 /GJ)</b> 5 0
	『ガス事第 ガス事第 ガス事第 登録 A0002 A0020_メ A0020_メ A0022_メ	<b>ス会社</b> 。 <sup>(美者排出) 番号+メ: ニューA ニューA ニューA</sup>	<b>『シート</b> 係数一覧】 出係数(特) ニュー (▼ 残差)	定排出: 東京京 東京 東京 東 東 邦 ガ	者の 温 ガ カエナジ 斯株式 ス株式	室効果 <b>ス事業</b> ジーパー 注会社 注会社	ガス排 <b>き者名</b> -トナーi	出量算	·定用) 「 社	2025 )- R5年	年度提 度供給到 <b>礎</b> (係数 //fm3, 2/GJ) 05 05 05 05 05	上用(2) €績-	D24年度 R6.6.28 <b>調整</b> <b>排出</b> ( <b>t-C02</b> , 2.0 0.0 2.0 0.0 0.0	実績 環境 後数 fm <sup>3</sup> 、 /GJ) 5 0
)	『ガス事第 ガス事第 ガス事第 登録 A0002 A0020メコ A0025メコ A0025メコ	<b>ス会社</b> 。 業者排出 業者別排 番号+メ: ニューA ニューB(: ニューA ニューB(: ニューB(:	<b>『シート</b> 係数一覧】 出係数(特) ニュー (★ 残差)	定排出: 東東東東東京京京瓦 東邦ガ	者の 温 ガ ガエナ: 新株式 ス株式 ス	室 効果 ス <b>事業</b> ジーパー た会社 法会社 法会社	ガス排 <b>ミ者名</b> -トナーi	出量算	·定用) (一) 社	2025 )- R5年 <b>基</b> 非出 (+-co 2 2 2 2 2 2 2	年度提出 度供給到 <b>發</b> (係数 (/fm3, 2/G) 05 05 05 05 05 05	上用(2) 尾積-	D24年度 R6.6.28 <b>調整</b> <b>排出f</b> ( <b>t-co</b> 2, 2.0 0.0 2.0 0.0 2.0 0.0 2.0 0.0 2.0	実績 環境 後 系 チ 価 5 0 5 0 5 0 5 0 5
	『ガス事第 ガス事第 ガス事第 登録 A0002 A0020 A0020 A0025 A0025 A0025 A0025	<b>ス会社。</b> 業者排出 業者別排 番号+メ: ニューA ニューB() ニューB()	<b>『シート</b> 係数一覧】 出係数(特) ニュー (▼ 残差)	定排出: 東東東東東 東邦 近 京 京 京 邦 ガ ガ 天 天 東 東 東 東 東 東 東 東 東	者の 温 ガ ガ ボ 林 林 式 ス ス 然 ガス ス ス 然 ガス	室効果 ス <b>事業</b> ノーバー 大会社 会社 会社 会社 会社	ガス排 <b>き者名</b> -トナーi ご社	第重出 第五二	·定用) 一 社	2025 )- R5年	年度提出 度供給到 <b>發 (係和</b> 2/ <b>5</b> 05 05 05 05 05 05 05 05 05 05	上用(2)	R6 6.26 調整 排出( (t-co2, 2.0 0.0 2.0 0.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0	実績 境 <b>後系</b> 5 5 0 5 1
	『ガス事第 ガス事第 ガス事第 登録: A0002 A0020、 A0025、 A0025、 D0025 D0028、 X	<b>ス会社</b> 。 業者排出 業者別排 <b>番号+メ</b> : ニューA ニューB() ニューA ニューB() ニューA	<b>『シート</b> 係数一覧】 出係数(特) ニュー (▼ 残差) 残差)	定排出: 東東東東東越東京京京邦邦後海ガガ天ガ	者の 温 ガ ナ 二 株 株 株 式 ス ス ズ ス ス ズ ス ス ズ	室 効果 フ 事 第 フ ーバー	ガス排 <b>き者名</b> -トナー <sup>3</sup> ミ社	<b>生量</b> 第 十 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	©定用) ▼ 社	2025 )- R5年	年度提出 度供給到 <b>袋費</b> (係和3 ( ( た ( た ( た) ( た) ( た) ( た) ( た) ( た	上用(2)	R6.6.28 調整 調整 (t-c02/ 2.0 0.0 2.0 2.0 0.0 0.0 0.0 0.0	実績 う環境 後 系 チャネ、) 5 0 5 0 5 1 0 5 1 0 0
	『ガス事第 ガス事第 ガス事第 登録: A0002 A0020 ス A0025 ス D0025 D0028 ス D0028 ス	ス会社。 <li>★者排出 美者別排 番号+メ: エューA エューB(: エューB(: エューB(: エューB(:</li>	<b>『シート</b> 係数一覧】 出係数(特) ニュー 残差) 残差) 残差)	定非主要東東東越東東北 東東東東北 東東東東北 一家東京邦が後海海ガ	者の 温 ガ ガ エ 株 株 株 ガ ズ ス ス ス ス ス ス ス ス	室効果 ス事業 ス事業 (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二)	ガス排 <b>ミ者名</b> -トナー <sup>3</sup> ミ社	出量算 株式会行	□定用) 【 【 】 】	2025 )- R5年	年度提出 度供給3 <b>袋 袋</b> (係力) (パチョ、 2/GJ) 05 05 05 05 05 05 05 05 05 05 05 05 05	上用(2) 尾積一	D24年度 R6.6.26 <b>調整</b> <b>非在2</b> 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0	実績 境 <b>後</b> <b>教養</b> <b>秋</b> <b>小</b> <b>小</b> <b>小</b> <b>小</b> <b>小</b> <b>小</b> <b>小</b> <b>小</b>
	『ガス事第 ガス事第 ガス事第 登録: A0002 A0020 A0020 ズ A0025 ズ D0025 ズ D0028 ズ H0004	<b>ス会社。</b> 業者排出 業者別排 <b>番号+メ</b> : <b>エー</b> A ニューB(: ニューA ニューB(: ニューA ニューB(: ニューA	<b>『シート</b> 係数一覧】 出係数(特) ニュー 残差) 残差)	定排出: 東東東東東越東東山 京京京邦邦後海海口	者の温 カエエ株株ガ株株ガ 林林ガススズ式 オス	室効果 <b>ス事</b> 第 2 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	ガス排 <b>き者名</b> -トナー <sup>3</sup> ご社	<b>生量</b> 朱式会	「定用) 「 て 社	2025 )- R5年	年度提 度供給 <b>資礎</b> <b>小係数</b> (/fm <sup>2</sup> , 2/GJ) 05 05 05 05 05 05 05 05 05 05	上用(2)	D24年度 R6.6.28 <b>調整</b> <b>非1((-002</b> / <b>1-002</b> / 2.0 0.0 2.0 0.0 2.0 0.0 2.0 2.0 2.0 2.0	実績 境 後 系 チ パ コ ン 5 0 5 0 5 1 0 5 5 1 0 5 5 5 5

【間違いやすいポイント】

同じガス会社でもメニューは多岐にわたります。 一般的な契約プランの場合は、「(残差)」と記載 されるメニューを選択してください。

『使用量 1,2』シート及び『ガス会社』シート

- 2 エネルギー使用量(都市ガス)
- 『ガス会社』シートで、購入先ガス会社(メニューがある場合はメニュー別)を検索し、
   「登録番号+メニュー」をコピーしてください。
   該当するガス会社がない場合には、「代替値」をコピーしてください。
- ② ①でコピーした文字列を『使用量\_1,2』シートの「登録番号+メニュー」欄に貼り付け てください。
- ③ 都市ガスの単位発熱量を確認してください。 初期値として 45.0(GJ/千㎡)が入力されています。 変更の必要がある場合は上書き修正してください。
- ④ ガス会社別に都市ガスの使用量を入力してください。

変更された項目

● ガス会社名の選択

## 2.3 エネルギー使用量の入力 『使用量 1,2』シート及び『熱供給会社』シート

2 エネルギー使用量(熱) 『使用量 1,2』シート

A	В	С	D	E	F	G	Н	Ι	J	К	L	M	N	0	P
87		産業用 <u>蒸</u> 気								GJ	0				
88			登録番号+メ ニュー	熱供給事業者名	基礎 tCO2/GJ	調整後 tCO2/GJ	(残差等) 基礎 tCO2/GJ	(残差等) 調整後 tCO2/GJ							
89		産業用以外の蒸気1		東京ガスエンジニア	0.051	0.051	0.051	0.051		GJ	0				
90		温水1	002	ズ株式会社田町駅	0.051	0.051	0.051	0.051		GJ	0	(2)			
91		冷水1 🛛	1 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	東口北地区	0.051	0.051	0.051	0.051		GJ	0				
92		産業用以外の蒸気2		株式会社福岡エネ	0.055	0.0617	0.055	0.0617		GJ	0				
93		温水2	039	ルギーサービス下	0.055	0.0617	0.055	0.0617		GJ	0				
94	熱	冷水2		川端再開発地域	0.055	0.0617	0.055	0.0617		GJ	0				
95	т.	産業用以外の蒸気3			0.046	0.0451	0.046	0.0451		GJ	0				
96		温水3 🛛	006	丸の内熱供給株式  会社	0.046	0.0451	0.046	0.0451		GJ	0				
97		冷水3 -			0.046	0.0451	0.046	0.0451		GJ	0				
98		産業 単外の蒸気4		東京下水道エネル	0.0386	0.0329	0.0386	0.0329		GJ	0				
99			047	ギー株式会社、後楽	0.0386	0.0329	0.0386	0.0329		GJ	0				
100	l r	1711		➡丁目地区	0.0386	0.0329	0.0386	0.0329		GJ	0				
101		その他購入素								GJ	0				
102		その他使用し	た熱(地熱、	温泉熱、太陽熱	、雪氷熱な	こど)				GJ	0				
103									小計	GJ	0	0	0	0	0

『熱供給会社』シート

熱供給事業者排出係数一覧】

2025年度提出用(2024年度実績値)

電熱供給事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)-R4年度供給実績-R6.6.28環境

登録番号+メニュー	熱供給事業者名	基礎 排出係数 (t-C02/千m³、	調整後 排出係数 (t-CO2/fm3、		
		t-CO2/GJ)	t-CO2/GJ)		
002	#東京ガスエンジニアリンガンリューションズ株式会社(田田家東口企地区)	0.0510	0.0510		
006	丸の内熱供給株式会社	0.0460	0.0451		
009	池袋地域冷暖房株式会社	0.0454	0.0420		
014	新都市熱供給株式会社	0.0526	0.0502		
016	西池袋熱供給株式会社	0.0485	0.0448		
024	みなとみらい二十一熱供給株式会社	0.0495	0.0468		
033	新宿熱供給株式会社	0.0529	0.0504		
035	株式会社ディーエイチシー銀座	0.0488	0.0470		
039_01	株式会社福岡エネルギーサービス下川端再開発地域	0.0550	0.0617		
039_02	株式会社補問エネルキーサービス」シーサイドももも地域	0.0419	0.0485		
039_03	株式会社福岡エネルギーサービス」西鉄福岡駅再開発地域	0.0341	0.0398		
047	東京下水道エネルギー株式会社。後楽一丁目地区	0.0386	0.0329		
050	新宿南エネルギーサービス株式会社	0.0488	0.0456		
057	錦糸町熱供給株式会社	0.0420	0.0390		
058	品川熱供給株式会社	0.0478	0.0443		
064	山王熱供給株式会社	0.0459	0.0432		
068	株式会社エネルギア・ソリューション・アンド・サービス	0.0405	0.0410		
069	品川エネルギーサービス株式会社	0.0447	0.0414		
073	DHC名古屋株式会社	0.0499	0.0348		
079_01	虎ノ門エネルキーネットワーク株式会社」虎ノ門一・二丁目地区	0.0460	0.0443		
079_02	虎ノ門エネルギーネットワーク株式会社」虎ノ門・麻布合地区	0.0468	0.0446		
代替値	代替値	0.0532	0.0532		

### 『使用量 1,2』シート及び『熱供給会社』シート

- 2 エネルギー使用量(熱)
- 都市ガスと同様の方法で、『熱供給会社』シートでコピーした「登録番号+メニュー」 を、『使用量\_1,2』シートの「登録番号+メニュー」欄に貼り付けてください。 該当する熱供給会社がない場合には、「代替値」をコピーしてください。
- ② 熱供給会社別に熱の使用量を入力してください。

変更された項目

熱供給会社名の選択

『使用量 1,2』シート及び『電力会社』シート

2 エネルギー使用量(電気) 「使用量 1,2」シート



### 『使用量 1,2』シート及び『電力会社』シート

- 2 エネルギー使用量(電気)
- 都市ガスと同様の方法で、『電力会社』シートでコピーした「登録番号+メニュー」を、 『使用量\_1,2』シートの「登録番号+メニュー」欄に貼り付けてください。
- ② 電力会社別に電気の使用量を入力してください。
- ③ 初期状態では5社分の入力欄のみ表示しています。
   (6社目以降の入力欄を非表示としています。)
   契約している電力会社が5社より多い場合は、6社目以降(110~124行目)の入力 欄を再表示してください。
- ④ 電気事業者の選び出しには、オートフィルター機能を使用して検索してください。
   詳しい方法は、『電力会社』シートに記載していますので、ご参照ください。

『使用量 1,2』シート

2 エネルギー使用量(その他の電力会社、自家発電)



#### 【間違いやすいポイント】

自家発電 太陽光 太陽光発電設備を設置している場合、発電した電気を入力してください。 (自家消費、売電の区分に関わらず、発電した電気をすべて計上してください。)

#### 『使用量 1,2』シート

- 2 エネルギー使用量(その他の電気事業者、自家発電)
- ① その他の電気事業者に該当する場合は、供給元の事業者名を入力してください。
- ② 基礎排出係数(tCO2/kWh)及び調整後排出係数(tCO2/kWh)を入力してください。
- ③ 残差等がある場合、残差等の排出係数も入力してください。※排出係数の算出根拠を別途ご提出ください。
- ④「その他」の種類を入力してください。
   「その他の燃料(化石)」、「その他の燃料(非化石)」、「その他の熱(化石)」、「その他の熱(非化石)」由来の自家発電の使用量は、参考値として入力してください。
   (再生可能エネルギー等電源比率の算定に使用します。)
   なお、発電に使用した「その他の燃料(化石)」、「その他の燃料(非化石)」、「その他の
   熱(化石)」、「その他の熱(非化石)」の投入量については、シート上部の「化石燃料」、「非化石燃料」、「熱」の欄に入力してください。
- ⑤ 電気の使用量を入力してください。

変更された項目

自家発電の項目を細分化

### 他者へのエネルギー供給がある場合

⇒本マニュアル7ページ①他社へのエネルギー供給(販売)欄を「有り」とした場合

### 『外部供給』シート

_	酸化炭素排	非出量算定表(1号、2号用)エネルギー外部供給量入力表	Ę					20	25年度提出	用(2024年	医実績値)			
<u>エネ</u> 原油	レギー集計対 検算エネルギー エネルギー	⑦の事業所数 10 件 使用量からOGL JL上の大規模事業所数 8 件 外部供給量	【注意 このシ 【入力 前年 I してく 第 ※自事	] ハートは、 <u>自らさ</u> リ方法] 動に自ら生成し ださい。 2発電した電気	<u>上成した熱</u> ,た「熱」また を外部に供	<b>電気等をエネ</b> =は「電気」をエ 給した場合は、	<u>ルギー管</u> ネルギー 「外部供約	理権限の身 管理権限の 記た電力量	<b>なる他人へ</b> の <b>異なる他人</b> 日を「発電に	. 供給した場 へ 供給した 使用した燃料	<u>合のみ入す</u> =際の当該 <u>f</u> 料の量」に換	」してくださし 共給量にかり 算して各燃料	♪。 かる原燃料の 料の欄に入力	<u>D 量</u> を記入 〕
								原油換算5	iooki 以上@	) 事業所名	称			
		エネルギーの種類		横浜市内合 計	原油換 (※寄与度) 原単位の種 給量合	町500kl 未満の3 り合計から求める 類別に列を変え 計を入力してくだ	事業所 5場合は、 で外部供 さい)	事業所名を 入力1	事業所名を 入力2	事業所名を 入力3	事業所名を 入力4	事業所名を 入力5	事業所名を 入力6	事業所名を 入力7
			単位	1自動計算				大規模事	業所のエ	ネルギーダ	本部供給量	t		· · · · ·
	原油(コンデ	ンセートを除く。)	kL											
	原油のうちこ	コンデンセート (NGL)	kL											
	揮発油(ガン	リン)	kL		9						6			
	ナフサ		kL		( <b>1</b> )						(7)			
	ジェット燃料	油	kL											
	灯油		kL		$\odot$			<u> </u>						
	軽油		kL											
	A重油		kL.											
	B·C重油		kL					_						
	石油アスファ	?ルト	t											
	<u> 石)田コークス</u>		t	-										
	石油ガス	液化石油リス(LPG)	1 7 1	-		-	_	_						
	-T 68* 6**	白/田ボ灰11/7 茶/ノス   液化三酸ガラ (1.1.0)	+m	-			-	_						
	91 3221生	(秋1し大茶)(J人(LNG)) ふの地可燃性実営力	Ind	-			_	-						
	VW01X	ての他可燃性大給力ス 輸入面料岩	1 T m	-			_							
		1000000000000000000000000000000000000	t +											
		10.220月前料出	+											
燃	石炭	<u>約2</u> mm122 輪入一船帯	+											
科			+											
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	+											

### 『使用量 1,2』シート

A	B C D E F	G H I J	K	L	М	N	0	P
146	原油換算エネルキー使用量	승 計	kL	0	0	0	0	0
147	二酸化炭素排出量	基礎	tCO2	0	0	0	0	0
148		調整後	tCO2	0	0	0	0	0
149		基 礎(残差等)	tCO2	0	0	0	0	0
150		調整後(残差等)	tCO2	0	0	0	0	0
151	エネルギー消費原単位の指標	名称	-					
152		重(C)	-					
153		単位(★)	-					
154	エネルキー消費原単位(kl/★)(有効数字四桁)	$(D) = (A-B-B') \div C$	kL/★					
155	原油換算エネルギー使用量(非化石燃料に0.8 を乗じた量)	(A)	kL	0	0	0	0	0
156	販売した副生エネルギー	(B)	kL	#VALUE!	#VALUE	#VALUE	#VALUE	#VALUE
157	購入した未利用熱	(B')	kL	0	0		0	
158	販売した副生エネルギー1		•					
159	販売した副生エネルギー2 (く)		•	( <b>Д</b> ) 🖣				
160	販売した副生エネルギー3		L					
161	購入した未利用熱	※複数の種類がある場合、合計値を入力	GJ					
	·	· · ·		( <b>5</b> )				
				$\mathbf{e}$				-

他者へのエネルギー供給がある場合

『外部供給』シートは、『使用量 1,2』シートの「1 基礎情報」で、他者へのエネルギー供給が 「有り」の場合のみ入力が必要です。

- ① 原油換算 500kL 未満の事業所の外部供給量をまとめて入力してください。
- ② 原油換算 500kL 以上の事業所ごとに外部供給量をそれぞれ入力してください。

『使用量 1,2』シート

販売した副生エネルギー\*1、購入した未利用熱\*2がある場合

- ⑤「販売した副生エネルギー」がある場合、エネルギーの種類をプルダウンリストから選 択してください。
- ④「販売した副生エネルギー」の「量」を入力してください。
- ⑤「購入した未利用熱」の「量」を入力してください。 複数の種類の「購入した未利用熱」がある場合は、それらの熱量の合計値を入力して ください。



- ※1 販売した副生エネルギー : 他者に供給したエネルギーを指す。なお、熱供給事業法上の熱供給 事業者に該当し、熱供給事業を行う事業所として登録を受けている工場等において生産された 熱は、副生エネルギーに該当しない。
- ※2 購入した未利用熱 : 他社から購入した未利用熱を指す。未利用熱とは、「自社内で用途がないため、他事業者へ提供しなければ、省エネ法判断基準に従って取組を行っても発生を抑制できず廃棄することが見込まれる熱」をいう。

### 排出係数等を変更する場合 『係数』シート

非出係数	女の設定														
基礎情	青報			※ 標準の	設定から	変更する場	슴								
1) 排出係	故と、電気の発	熱量の設定(標準の設定から変更する場合	<u></u> })												
.,		エクルギーの新種		単信発執量				排中区数					0. 播首		
				単位	分母単位	基礎	調整後	基礎(残差)	調整夜(幾里)	単位	基礎	調整後	基礎(残差)	調整夜(尻坐)	単位
	原油(コンラ	シセートを除く。)	38.3	GJ/kL	kL	0.0190	0.0190	0.0190	0.0190	t0/GJ	2.67	2.67	2.67	2.67	tCO <sub>2</sub> /kL
	原油のうち	コンデンセート (NGL)	34.8	GJ/kL	kL	0.0183	0.0183	0.0183	0.0183	tC/GJ	2.34	2.34	2.34	2.34	tCO2/kL
	揮発油(ガ)	フリン)	33.4	GJ/kL	kL	0.0187	0.0187	0.0187	0.0187	tC/GJ	2.29	2.29	2.29	2.29	tCO2/kL
	ナフサ		33.3	GJ/kL	kL	0.0186	0.0186	0.0186	0.0186	tC/GJ	2.27	2.27	2.27	2.27	tCO2/kL
	ジェット 燃料	1)由	36.3	GJ/kL	kL	0.0186	0.0186	0.0186	0.0186	t0/GJ	2.48	2.48	2.48	2.48	tCO2/kL
	灯油		36.5	GJ/kL	kL	0.0187	0.0187	0.0187	0.0187	t0/GJ	2.50	2.50	2.50	2.50	tCO <sub>2</sub> /kL
	軽油		38.0	GJ/kL	kL	0.0188	0.0188	0.0188	0.0188	t0/GJ	2.62	2.62	2.62	2.62	tCO2/kL
	A重油		38.9	GJ/kL	kL	0.0193	0.0193	0.0193	0.0193	t0/GJ	2.75	2.75	2.75	2.75	tCO2/kL
	B·C重油		41.8	GJ/kL	kL	0.0202	0.0202	0.0202	0.0202	tC/GJ	3.10	3.10	3.10	3.10	tCO2/kL
	石油アスフ	アルト	40.0	GJ/t	t	0.0204	0.0204	0.0204	0.0204	tC/GJ	2.99	2.99	2.99	2.99	tCO2/t
	石油コーク	z	34.1	GJ/t	t	0.0245	0.0245	0.0245	0.0245	tC/GJ	3.06	3.06	3.06	3.06	tCO2/t
	万油ガス	液化石油ガス(LPG)	50.1	GJ/t	t	0.0163	0.0163	0.0163	0.0163	10/GJ	2.99	2.99	2.99	2.99	tCO2/t
		石油系炭化水素ガス	46.1	GJ/∓m²	∓m′	0.0144	0.0144	0.0144	0.01 44	t0/GJ	2.43	2.43	2.43	2.43	tCO₂/∓m³
	可燃性	液化天然ガス(LNG)	54.7	GJ/t	t	0.0139	0.0139	0.0139	0.0139	t0/GJ	2.79	2.79	2.79	2.79	t002/t
	天然ガス	その他可燃性天然ガス	38.4	GJ/千㎡	-∓m'	0.0139	0.0139	0.0139	0.0139	tC/GJ	1.96	1.96	1.96	1.96	tCO₂/∓m³
		輸入原料炭	28.7	GJ/t	t	0.0246	0.0246	0.0246	0.0246	tC/GJ	2.59	2.59	2.59	2.59	tCO2/t
		コークス用原料炭	28.9	GJ/t	t	0.0245	0.0245	0.0245	0.0245	tC/GJ	2.60	2.60	2.60	2.60	tCO2/t
	石炭	吹込用原料炭	28.3	GJ/t	t	0.0251	0.0251	0.0251	0.0251	tC/GJ	2.60	2.60	2.60	2.60	tCO2/t
燃	1012	輸入一般炭	26.1	GJ/t	t	0.0243	0.0243	0.0243	0.0243	t0/GJ	2.33	2.33	2.33	2.33	t002/t
料		国産一般炭	24.2	GJ/t	t	0.0242	0.0242	0.0242	0.0242	t0/GJ	2.15	2.15	2.15	2.15	t002/t
		輸入無煙炭	27.8	GJ/t	t	0.0259	0.0259	0.0259	0.0259	t0/GJ	2.64	2.64	2.64	2.64	tCO <sub>2</sub> /t
	石炭コーク.	2	29.0	GJ/t	t	0.0299	0.0299	0.0299	0.0299	tC/GJ	3.18	3.18	3.18	3.18	tCO2/t
	コールター	L	37.3	GJ/t	t	0.0209	0.0209	0.0209	0.0209	tC/GJ	2.86	2.86	2.86	2.86	tCO2/t
	コークス 炉	ガス	18.4	GJ/∓m²	fm²	0.01 09	0.01.09	0.01.09	0.01 09	tC/GJ	0.74	0.74	0.74	0.74	tCO2/fm3
	高炉ガス		3.23	GJ/千㎡	Ťm²	0.0264	0.0264	0.0264	0.0264	tC/GJ	0.31	0.31	0.31	0.31	tCO2/千m <sup>3</sup>
	発電用高炉	ガス	3.45	GJ/∓m²	fm°	0.0264	0.0264	0.0264	0.0264	t0/GJ	0.33	0.33	0.33	0.33	tCO₂/∓m³

排出係数等を変更する場合 『係数』シート

『係数』シートは、燃料などの排出係数等を変更する場合や、電気の発熱量を標準設定から 変更する場合のみ使用します。

なお、黄色セル、緑色セルのみ変更可能です。

## 『使用量 1,2』シート

### 2 エネルギー使用量(エネルギー消費原単位)

#### 事業者全体で統一の原単位を使用する場合

A	B C D E F	G H I J	K	L	M	N	0	Р
146	原油換算エネルギー使用量	合 計	kL	0	0	0	0	0
147	二酸化炭素排出量	基礎 🕢	tCO2	0	0		0	0
148		調整後())	tCO2	0	0	(2) 0	0	0
149		基礎(残差等)	tCO2	0	0		0	0
150		調整後(残差等)	tCO2	<u> </u>				
151	エネルギー消費原単位の指標	名称						
152		重(C)	- 1	-				
153		単位(★) 🕴	I - I	-				
154	エネルキー消費原単位(kl/★)(有効数字四桁)	(D)=(A-B-B•)•÷€	kL/★					
155	原油換算エネルギー使用量(非化石燃料に0.8 を乗じた量)	(A)	kL	0	0	0	0	о
156	販売した副生エネルギー	(B)	kL	#VALUE!	#VALUE	#VALUE	#VALUE	#VALUE
157	購入した未利用熱	(B')	kL	0	0	0	0	0
158	販売した副生エネルギー1			0				
159	販売した副生エネルギー2			0				
160	販売した副生エネルギー3			U U				

#### 原単位の寄与度の合計から求める場合

A	B C D E F	G H I J	K	L	M	N	0	P
46	原油換算エネルキー使用量	승 計	kL	0	0	0	0	
47	二酸化炭素排出量	基礎	tCO2	0	0	0	0	
48		調整後	tCO2	0	0	0	0	
49		基 礎(残差等)	tCO2	0	0	0	0	
150		調整後(残差等)	tCO2	•				
151	エネルギー消費原単位の指標	名 称	-	0				
152		重(C)	-	C)				
53		単位(★)	-	)				
154	エネルギー消費原単位(kl/★)(有効数字四桁)	$(D) = (A - B - B') \div C$	kL/★	_				
155	原油換算エネルギー使用量(非化石燃料に0.8 を乗じた量)	(A)	kL	0	0	0	0	
156	販売した副生エネルギー	(B)	kL	#VALUE!	#VALUE	#VALUE	#VALUE	#VALUE
157	購入した未利用熱	(B')	kL	0	0	0	0	
158	販売した副生エネルギー1			0				
159	販売した副生エネルギー2			0				
160	販売した副生エネルギー3			0				
61	購入した未利用熱	※複数の種類がある場合、合計値を入力	GJ					
67	寄与度の合計から求めた原単位を使用して計画	書を作成する場合		(4)				
68	目標(2027)年度原単位	(G)	kl/★					
169	エネルギー消費量構成比	(R)	-					
170	目標年度削減率 (H=(1-G/D)×100)	(н)	%					
	目標年度削減率(構成比重みづけ)	寄与度の合計の場合	%	0.00				

#### 『使用量 1,2』シート

2 エネルギー使用量(エネルギー消費原単位)

#### 事業者全体で統一の原単位を使用する場合

- ② 緑色セルに①の入力内容が反映されます。 黄色セルにエネルギー消費原単位の指標の「量」を入力してください。 なお、エネルギー消費原単位の数値が1以上となるように、指標の単位を調整してく ださい。

#### 原単位の寄与度の合計から求める場合

- ③ 事業所ごとに、エネルギー消費原単位の指標の「名称」、「量」、「単位」を入力してください。
   ※原油換算 500kL 以上の事業所の入力欄は参照式が入った緑色セルとなっておりますが、必要に応じて上書きしてください。
- ④ 寄与度の合計から求めた原単位を使用して計画書を作成する場合は「目標(2027)
   年度原単位」を該当セルに入力してください。

原単位について変更された内容

 原単位をエネルギー使用量に変更 (従来は CO2 量)



#### 『計 1』シート

黄色セル 記入してください。

- 緑色セル 事業者 ID に応じて報告書の入力内容を表示しています。 変更がある場合は上書き修正してください。
  - ① 事業者 ID は、『はじめに』シートから自動でデータが反映されます。【入力不要】 新規事業者は空欄となります。
  - ② 電子申請システムで提出する日付を入力してください。【<u>入力必要</u>】
  - ③ 事業者の名称、代表者氏名等の修正が必要な場合は、P4「はじめに」シートの③事業者の状況変更にて変更があった項目を修正してください。【自動表示】 代表者から権限を委任されている者が提出する場合は、委任状を添付した上で、本欄を受任者の住所・氏名等に修正してください。前年度までに委任状を提出しており、代表者及び受任者に変更がない場合は提出不要です。
- 1 地球温暖化対策事業者等の概要
  - ④ 修正が必要な場合は、P4「はじめに」シートの③事業者の状況変更にて変更があった項目を修正してください。【自動表示】
  - ⑤ 修正が必要な場合は、本社の所在地を入力してください。【自動表示】 本社が市外にある場合は、その所在地を入力してください。
  - ⑥ 修正が必要な場合は、主たる事業の業種をプルダウンリストから選択してください。
     【自動表示】
     主たる事業の業種については日本標準産業分類をご参照ください。
  - ⑦ 修正が必要な場合は、該当する事業者の要件を選択してください。【自動表示】 複数要件に該当する場合は、複数選択してください。
  - ⑧ 修正が必要な場合は、「原油換算エネルギー使用量」、「市内全事業所数」、「原油換 算エネルギー使用量が 500kl 以上の事業所数」を入力してください。【自動表示】
- 2 計画期間
  - ⑨ なお、「年度」は、4月1日から翌年3月31日までを指します。 【入力不要】
- 3 温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針

① 本計画を推進するにあたり、本市における事業活動に伴う温室効果ガスの排出の抑制等に向けた基本的な方針を記入してください。【入力必要】 また、事業者全体として地球温暖化対策に取り組んでいる中での、本計画の位置付け (市内の事業所の取組内容が、全社の取組と同じであるのか、異なる部分があるのか など)について記入してください。

『言	†2』シート
4	公表の方法

細則) (総 4	937号様式(第 2 条第43 括票) 公表の方法	3号)	1
◄	ホームページ	アドレス	http://wwww.xxxx.co.jp/csr/kankyo.html
		閲覧場所	
	窓口で閲覧	所在地	
		閲覧可能時間	
	その他		

### 5の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等(第1号及び第2号該当事業者)

5Ø	)1 温室効果ガ	٦ď	)排出の抑制に係	る目標	<u>等(第1号及び第</u>	52号該	当事業者)				
			特別	包温室効果	果ガス排出量	エネルネ	ゴー消費「	貢単位	再生可能エネルギ		
			基礎		調整後			エイルキー相賛原手位		等電源	比率
基	準 年 (2024年度)	度	47,528 (47,528)	t-C0 <sub>2</sub>	40,560 (36,660) 3	) t-CO <sub>z</sub>	92.85	kl/	百m2	9.90	%
E	標 年 (2027年度)	度	46,000	t-C0 <sub>2</sub>	39,000 (5	) t-CO <sub>z</sub>	91.5	k1/	百m2	10	%
	削 滅	率	3.2	%	3.8	%	1	.5	%		
		_	<u> </u>								
	中長期目標		●有○無							1	
			2030	年度		年度			年度		
	目標内容		30	%削減		%削減			%削減	]	
			2013	年度比		年度比			年度比		

『計 2』シート

- 4 公表の方法
  - 計画書の公表方法を選択してください。【自動表示】 修正が必要な場合は、変更があった項目を修正してください。 広く公表できるよう、ホームページによる公表を推奨します。 窓口での閲覧の場合、所在地は、市内事業所ではない場所(市外の本社等)も可能で す。
- 5の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等(第1号及び第2号該当事業者)
  - ② 特定温室効果ガス排出量 基準年度・基礎【入力不要】 基準年度の値は、『使用量 1,2 シート』から反映され、基準年度における、すべての 事業所のエネルギー使用に係る排出量(電気、ガス、熱の場合は通常メニューの基礎 排出係数(残差等)を使用)の合計値が表示されます。(なお、下段の()内には、メニ ュー別の基礎排出係数で計算した排出量が表示されます。)
  - ③ 特定温室効果ガス排出量 基準年度・調整後【入力不要】 基準年度の値は、『使用量 1,2 シート』から反映され、基準年度における、すべての 事業所のエネルギー使用に係る排出量(電気、ガス、熱の場合は通常メニューの調整 後排出係数(残差等)を使用)の合計が表示されます。(なお、下段の()内には、メニ ュー別の調整後排出係数で計算した排出量が表示されます。)
  - ④ 特定温室効果ガス排出量 目標年度・基礎 【入力必要】 計画期間に実施する排出抑制対策や事業活動の状況、クレジット購入等を勘案し、目標 年度(計画期間の最終年度)の基礎排出量を設定してください。 削減率は自動計算されるので入力は不要です。
  - ⑤ 特定温室効果ガス排出量 目標年度・調整後 【入力必要】 計画期間に実施する排出抑制対策や事業活動の状況、クレジット購入等を勘案し、目標 年度(計画期間の最終年度)の調整後排量を設定してください。 削減率は自動計算されるので入力は不要です。

## 『計 2』シート

г

5の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等(第1号及び第2号該当事業者)

50	の1 温	室効果	ガス	の排出の抑制に係	んる目標	<u>等(第1号及び第</u>	52号該	当事業者)			
				特别	包温室効果	果ガス排出量		エネルギー消費」	貢単位	再生可能エネルキ	
				基礎		調整後		- 170 T 11150		等電源比	率
基	準	年	度	47,528	+-00	40,560	+-00	99 85 <b>1</b> 1/1	<b>편</b> m 9	a an	o/
	( 2024	年度 )		(47,528)	0.002	(36,660)	0.002	02.00 U KI7		<b>(4</b> )	<i>/</i> *
đ	標 (2027	年 年度)	度	46,000	t-C0 <u>2</u>	39,000	t-C0 <sub>2</sub>	91.5 <b>(2)</b> k1/	百m2	10 5	%
	削	滅	率	3.2	%	3.8	%	3	%	Ŭ	
	中長期	明目標(	6	●有 〇 無				~			
				2030	年度		年度		年度		
	目標	内容 🤇	7)	30	%削減		%削減		%削減		
				2013	年度比		年度比		年度比		

#### 『計 2』シート

5の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等(第1号及び第2号該当事業者)

- エネルギー消費原単位・基準年度【入力不要】
   基準年度の値は、「使用量1,2シート」から反映されます。
- ② エネルギー消費原単位・目標年度【入力必要】 計画期間に実施する排出抑制対策や事業活動の状況を勘案し、目標年度(計画期間の最終年度)のエネルギー消費原単位を設定してください。 ※エネルギー消費原単位は、数値が1以上となるように単位を調整して設定してください。(記載は小数第2位までとしてください。) 原単位の寄与度の合計から算出した場合には、入力不要です。 原単位の目標設定が行えるのは、計画書のみです。計画期間の途中で設定すること はできません。
- ③ エネルギー消費原単位・削減率【入力不要】 エネルギー消費原単位の削減率が、以下の通り自動計算されます。 削減率=(基準年度の原単位-目標年度の原単位)/基準年度の原単位×100 なお、計算途中は各項目の端数処理後の数値で計算し、算出結果の小数第2位を四 捨五入し、小数第1位までの値が表示されます。
- ④ 再生可能エネルギー電源比率・基準年度【入力不要】
   基準年度の値は、「使用量1,2シート」から反映されます。
- ⑤ 再生可能エネルギー電源比率・目標年度 (入力必要) 計画期間に導入する再生可能エネルギー等の状況を勘案し、目標年度(計画期間の 最終年度)の再生可能エネルギー電源比率を設定してください。
- ⑥ 中長期目標の有無を選択してください。 【<u>入力必要</u>】
- ⑦ ⑥で「有」を選択した場合は、中長期目標の「目標年度」、「目標削減率」、「基準年度」 を入力してください。

新たに追加された項目

再生可能エネルギー等電源比率

#### 変更された項目

- 排出原単位 → エネルギー消費原単位
- 排出の抑制に係る目標の設定の考え方 → 中長期目標、目標内容

# 『計3』シート 6 クレジット等に関する取組状況及び計画

細則第 (総排 6 計	87号様式(第2条第48号) 5番票) 1 レジット等に関する取組状況及び計画 画期間での導入予定 ● 有 ○ 悪	1			
番号	クレジット等の名称	特定温室効果ガス削減相当量 [t-CO₂]	オフセット対象範囲	換算電力量	再エネ指定
1	TIT非化石証書	22	橫浜市内事業所	50000 <mark>k</mark> Wh	0
2	(予定)グリーン熱証書	50	橫浜市内事業所		
3					
4	(2)	(3)	(4)	(5) (6	
5					
5				·····	-

#### 『計 3』シート

- 6 クレジット等に関する取組状況及び計画
  - 計画期間におけるクレジット等の導入予定の有無を選択してください。
     【入力必要】

以下の項目は、具体的な計画がある場合に記載してください。【入力任意】

② 計画期間に取得する予定のクレジット等をプルダウンから選択してください。 プルダウンで選択できるクレジットは、次の表の通りです。表中にないクレジットを 記載する場合は、市へ削減相当量の換算方法を御相談ください。

クレジット等の名称								
J-クレジット_再エネ電力由来	非 FIT 非化石証書(再エネ指定あり)							
Jークレジット_再エネ熱由来	非 FIT 非化石証書(再エネ指定なし)							
J-クレジット_その他	(予定)J-クレジット							
グリーン電力証書	(予定)グリーン電力証書							
グリーン熱証書	(予定)グリーン熱証書							
FIT 非化石証書	(予定)FIT 非化石証書							

③ 取得する予定のクレジット等の削減量を記入してください。
 ②で非化石証書等の電力量に関するクレジットを選択した場合は、以下の計算式により特定温室効果ガス削減相当量へ変換して記入してください。

電力量に関するクレジットによる「特定温室効果ガス削減相当量」

=換算電力量(kWh)×全国平均係数( $t-CO_2/kWh$ )×補正率

全国平均係数(t-CO2/kWh)	0.000423
FIT補正率	1.02
非FIT補正率	1.02

- ④ オフセットの対象範囲を、市内の事業所と特定できるように入力してください。
- ⑤ ①で電力量に関するクレジットを選択した場合は、クレジットの換算電力量を入力し てください。
- ⑥ ⑤で入力した換算電力量の単位をプルダウンリストから選択してください。 プルダウンリストで選択できる単位の種類は、「kWh」、「千 kWh」です。

**『計3』シート** 7 設備の新設、更新等の計画

7 設備の ( <b>1</b> )	<u>新設 更新等の計画</u> 計画期間での実施予定	◎ 有 ○ 無
J	太陽光発電	2025年度完成予定の△△事業所において、約100k₩の太陽光発電設備の導入を 予定している。
再エネ設備	2	3
<b>(4)</b> L記以外	計画期間での実施予定 2025年度完成予定のΔΔ <sup>889</sup>	● 有 ○ 無 事業所において、建物の断熱性を高め空調負荷を削減するとともに、高効率 少すされず、空快速も熱変変開き日告よ
	(成語・システムを得入し	、 省ムイルヤーでは週ばれ物立向を日頃す。

8 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況及び計画

8	次世代自動車(EN 期間での導入予定	/、PHV、FCV)及 ●有 〇	をびハイブリッ 無	ド自動車(HV) <b>⑥</b>	の導入状況及る	び計画
次世代自動車の種別		電気自動車	ヴラグイン ハイブリッド 自動車	燃料電池自動車	ハイブリッド 自動車	合計
	現保有台数	30	15	15	0	<b>7</b> 60
導計 ↓ 画	事業用	0	3	1	1	5
→ 一 予期 定間	自家用	0	0	0	0	<b>8</b> 0
台で 数の	軽自動車	5	0	0	0	5

【間違いやすいポイント】

保有、導入予定がない場合は空欄にせず、 「0(ゼロ)」を入力してください。

⑧ 計画期間での次世代自動車・ハイブリッド自動車の導入予定台数は、

以下の区分で入力してください。

・事業用自動車: トラックやタクシー、路線バスなどの運賃や報酬を受け取り運搬する車両

ナンバープレートに緑地に白文字で表示

・自家用自動車: 自社所有の貨物等を運搬する車両

ナンバープレートに白地に緑文字で表示

・軽自動車につきましては、事業用、自家用の合計台数を記載してください。

#### 『計 3』シート

#### 7 設備の新設、更新等の計画

- 再生可能エネルギー利用設備の新設、更新等の計画について、計画期間での実施予 定の有無を選択してください。
- ② ①で「有」を選択した場合は、導入予定の再工ネ設備をプルダウンリストから選択してください。

プルダウンリストで選択できる設備機器の種類は、次の表の通りです。

再生可能エネルギー	利用設備機器の種類
太陽光発電	地熱発電
風力発電	太陽熱利用
バイオマス	地中熱利用
水力発電	

- ③②で選択した再エネ設備について、具体的な計画を記載してください。
- ④ 再エネ設備以外の設備の新設、更新等について、計画期間中の実施有無を選択して ください。【入力必要】
- ⑤ ④で「有」を選択した場合は、導入予定の設備について具体的な計画を記載してくだ さい。
- 8 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況及び計画 【入力必要】
  - ⑥ 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)について、計画期間 での導入予定の有無を選択してください。
  - ⑦ 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の、前年度3月31 日時点で保有している台数を、自動車種別に入力してください。 保有していない場合は、「0(ゼロ)」を入力してください
  - ⑧ 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の、計画期間中に導入予定の台数を、自動車種別に入力してください。 導入予定がない場合は、「0(ゼロ)」を入力してください。

新たに追加された項目

● 種別:ハイブリッド自動車

変更された項目

● 導入予定台数の入力欄を細分化(自家用、事業用、軽自動車)

### 『計 4-1』シート 9の1 基本対策の実施状況及び計画(第1号及び第2号該当事業者)

				- AL 180 AL 2	光校	び計画(計画)	朝間の	村)		
				96061/(1	-			1		1
	۲	実施済	0	一部実施済	$\circ$	実施予定有	0	実施予定無	0	非該当
	۲	実施済	0	一部実施済	0	実施予定有	0	実施予定無	0	非該当
務用機器	۲	実施済	$^{\circ}$	一部実施済	$^{\circ}$	実施予定有	0	実施予定無	0	非該当
変電設備	۲	実施済	0	一部実施済	0	実施予定有	0	実施予定無	0	非該当
間2,000時間以上点灯する 明設備	۲	実施済	0	一部実施済	0	実施予定有	0	実施予定無	0	非該当
調設備	۲	実施済	0	一部実施済	0	実施予定有	0	実施予定無	0	非該当
周用冷凍機	۲	実施済	0	一部実施済	0	実施予定有	0	実施予定無	0	非該当
気設備	۲	実施済	0	一部実施済	0	実施予定有	0	実施予定無	0	非該当
阒設備 忥設備	۲	実施済	0	一部実施済	0	実施予定有	0	実施予定無	0	非該当
イラー	0	実施済	0	一部実施済	0	実施予定有	0	実施予定無	۲	非該当
イラー	0	実施済	0	一部実施済	0	実施予定有	0	実施予定無	۲	非該当
イラー 業炉	0	実施済	0	一部実施済	0	実施予定有	0	実施予定無	۲	非該当
アン	0	実施済	0	一部実施済	۲	実施予定有	0	実施予定無	0	非該当
-	用機器 電設備 2,000時間以上点灯する 設備 開冷凍機 設備 設健備 ラー ラー ラー ラー ラー ラー ラー フー フー フー フー フー フー	日根器     ・       電設備     ・       2,000時間以上点灯する     ・       設備     ・       設備     ・       設備     ・       設備     ・       設備     ・       うつ     ・       うつ     ・       うっ     ・       ・     ・       ・     ・       ・     ・       ・     ・       ・     ・       ・     ・       ・     ・       <	日根器     ●     実施済       電設備     ●     実施済       2,000時間以上点灯する     ●     実施済       設備     ●     実施済       うー     ○     実施済       ラー     ○     実施済       ブ     ○     実施済       ブ     ○     実施済	日根器     ●     東施済     ○       電設備     ●     実施済     ○       2000時間以上点灯する     ●     実施済     ○       設備     ●     実施済     ○       うー     ○     実施済     ○	日根器         ● 実施済         ● 一部実施済           日根器         ● 実施済         ● 一部実施済           20.00時間以上点灯する         ● 実施済         ● 一部実施済           設備         ● 実施済         ● 一部実施済           ラー         ○ 実施済         ● 一部実施済           フー         ○ 実施済         ● 一部実施済	日根器     ● 実施済     一部実施済     一部実施済     ○       日根器     ● 実施済     一部実施済     ○       2000時間以上点灯する     ● 実施済     一部実施済     ○       設備     ● 実施済     ○     一部実施済     ○       設備     ● 実施済     ○     一部実施済     ○       うー     ○     実施済     ○     一部実施済     ○	日根記         日根記         日根記         日根記         日根記         日根記         日根記         日報法第         日報法第         日報法第         日報法第         第二年第二年           2003年間以上点灯する         東北京         一部実施済         一部実施済         二部実施済         実施子定有           2003年間以上点灯する         東北京         一部実施済         二部実施済         実施子定有           2003年間以上点灯する         東北京         一部実施済         二部実施済         実施子定有           2003年間以上         ● 実施済         一部実施済         二部実施済         二部共施子定有           2014年間         ● 実施済         一部実施済         二部未必定有           2015年間         ● 実施済         一部実施済         二票         二部未必定有           2015年間         ● 実施済         〇         一部実施済         二票         二部未必定有           2015年間         ● 実施済         〇         一部実施済         ○         実施子定有           2015年         ● 実施済         〇         一部実施済         ○         実施子定有           2015年         ● 実施済         〇         一部実施済         ○         実施子定有           2015年         ● 実施済         ○         一部実施済         ○         実施子定有           2015年         ● 実施済         ○         一部実施済         ○         実施子定有           2015年         <	日根器         ●         本地済         ○         部がれば //         ●         東地方 //         ●         ■         ●	日根器         ●         東地方         ○         日期支援方         ○         東地方         <	日根器         ●         東地市         ○         町中央地市         ○         東地市/2 mm         ○         □

#### 9の2 重点対策の実施状況及び計画(第1号及び第2号該当事業者)

9の2 重点対策の実施状況及び計画(第1号及び第2号該当事第	《者)		K
重点対策	対策の内容	実施状況及び計画(計 画期間内)	備考
1 脱炭素経営に関する取組の実施	のSBT のBET00 のREAction Gexリーグへの参画 Gexリーグへの参画 のグリーン経営認証 のそうの他構成方記別かた脱炭素経営に関する取組 上記のから©のいずれかの取組に参画等している。	<ul> <li>✓ SBT</li> <li>RE100</li> <li>RE Action</li> <li>GX() - グ</li> <li>グリーン経営問題</li> <li>その他</li> <li>実施予定有</li> <li>実施予定業</li> </ul>	
2 サブライチェーン排出量の削減計画の策定	のサブライチェーン排出堂を築定している。 ゆサブライチェーン排出堂の副派目標を設定している。 ゆサブライチェーン排出堂の副派目標を達成するための遵常を立 案している。	<ul> <li>実施済</li> <li>一部実施済</li> <li>実施予定有</li> <li>実施予定無</li> </ul>	
3 脱炭素に向けた調達方針の策定	① サブライヤーに対する調達方針を第定し、公表している。 ② サブライヤーに対する調達方針に沿って調達している。	<ul> <li>() 実施済</li> <li>() 一部実施済</li> <li>() 実施予定有</li> <li>() 実施予定無</li> </ul>	
4 環境配慮製品・サービス等の開発・製造及び提供	の地球温暖化対策に寄与する環境配慮製品・サービス等の製造・ 損供等を行っている。 ② のの製品・サービス等が地球温暖化対策に貢獻できる二酸化炭 素堂を擁計している。 ②地球温暖化対策に寄与する環境配慮製品等を研究・開発する事 業に参画している。	<ul> <li>○ 実施済</li> <li>○ 一部実施済</li> <li>● 実施予定有</li> <li>○ 実施予定無</li> </ul>	
5 エネルギー清費効率の高い建築物の導入	のZEBに適合した建築物、またはZEBに準拠した建築物を保有して いる。 のZEBに適合した建築物、またはZEBに準拠した建築物にテナント として入居している。	<ul> <li>() 実施済</li> <li>() 一部実施済</li> <li>() 実施予定有</li> <li>() 実施予定無</li> </ul>	

『計 4-1』シート

9の1 基本対策の実施状況及び計画(第1号及び第2号該当事業者) 【入力必要】

- 9の2 重点対策の実施状況及び計画(第1号及び第2号該当事業者) 【入力必要】
  - 対策ごとに、基準年度の実施状況及び計画期間中の実施計画を選択してく ださい。

9の1 基本対策につきましては、各対策の管理標準の設定・運用の実施状況につい て選択してください。

9の2 重点対策につきましては、対策の内容についての実施状況を選択いただき、

補足事項などございましたら備考欄に記入してください。

「1 脱炭素経営に関する取組の実施」でその他を選択した場合は、備考欄に参画等 をしている対策について記載してください。

状況の判断については、別途定める解説資料をご参照ください。

・基本対策解説「基本対策について」

・重点対策解説「新たな重点対策について」

重点対策に関する根拠資料の提出は不要です。

変更された項目

- 重点対策の項目を一新
- 従来の重点対策の名称を「基本対策」に変更

『計 5』シート

### 個別票

			tht	杉温暖化対策調	+両書			
		_	- <u>-</u>					
1 事業所等	等の概要	₽						
事 業 所 等 の	の名称	〇〇事務所		1				
事業所等の	所在地	神奈川県横浜市●●	区XX町-△	2				
延床面和	責	25,000	) <sup>加2</sup> 原油換 ルギー	算エネ 使用量 <sup>6,7</sup>	88 ( <b>4</b> )	k l	事業所等の 区分	事務所
テクルギ								
管理権限	_ R	全て有り	<b>6</b> 所有	形態所有	(オーナー)(	7		
		全て有り - 以下は市F	6 所有 内全事業所た	<sup>形態 所有</sup> <sup>が</sup> 1事業所の <i>る</i>	<del>オーナー)(</del> みの場合	<b>⑦</b> 、省■	各可能です。-	
2 温室効5	_ 見  果 <u>ガス(</u> 特)	全て有り - 以下は市F D排出の抑制に係 <sup>2</sup> 温室効果ガス排出	6 所有 内全事業所た <u>る目標等</u> 通 (基礎)	<sup>形態 所有,</sup> が1事業所の <i>る</i> エネルギー?	<u>(オーナー)(</u> みの場合 <sub>消費原単位</sub>	<b>⑦</b> 、省■	各可能です。 -	
2 温室効 基 準 年 度 2024	ー ー - 果 <u>ガス(</u> 特)	全て有り - 以下は市F <u>D排出の抑制に係</u> <sup>2温室効果ガス排出 13,193</sup>	6 所有 内全事業所た 3 3 1 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	形態 所有 が1事業所のる エネルギー 82.71	<sup>(オーナー)</sup> ( ) ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	<b>2</b> 、省■	各可能です。 -	
2 温室効 基 準 年 度 2024 目標年度 ※ 2027	ー ー - 果 <u>ガス(</u> 特)	全て有り - 以下は市口 D排出の抑制に係 室温室効果ガス排出 13,193 10,500	6 所有 为全事業所た <u>3日標等</u> <u>3日(基礎)</u> t-co <sub>2</sub> t-co <sub>2</sub>	<sup>形態 所有の</sup> が1事業所のる エネルギー 82.71 80.00	(オーナー) チの場合 <sub> </sub>	<b>了</b> 、省町 5万m5 5万m5	各可能です。 -	

#### 『計 5』シート

個別票

基準年度における原油換算エネルギー使用量が 500kL 以上の事業所ごとに作成してください。

※個別票は縦に配列しており、最大40事業所分の作成が可能です。

- 1 事業所等の概要
  - 事業所等の名称は、『使用量 1,2 シート』の情報が反映され表示されます。
     【入力不要】
  - ② 事業所の所在地を入力してください。【<u>入力必要</u>】
  - ③ 事業所の総延床面積を入力してください。【<u>入力必要</u>】
  - ④ 原油換算エネルギー使用量は、『使用量 1,2 シート』の情報が反映され表示 されます。【入力不要】
  - ⑤ 事業所の区分をプルダウンリストから選択してください。【<u>入力必要</u>】 プルダウンリストで選択できる項目は次の表の通りです。

事業所等	等の区分
工場	事務所(テナントビル)
熱供給施設	商業施設
発電施設	宿泊施設
上水道·下水道施設	医療施設
廃棄物処理施設	文化施設
事務所	倉庫
事務所(電算施設)	その他

- ⑥ 事業所のエネルギー管理権限の有無をプルダウンリストから選択してください。【入力必要】 プルダウンリストで選択できる項目は、「全て有り」、「一部有り」、「無し」です。
- ⑦ 事業所の所有形態をプルダウンリストから選択してください。【入力必要】 プルダウンリストで選択できる項目は、「所有(オーナー)」、「賃借(テナント)」、「その 他」です。

『計 5』シー	·ト
個別票	

(個別票)	(95 E	10.97						
			t	也球温暖	能力策計画	画書		
1 事業所等	<u>の概要</u>							
事業所等の	名称	〇〇事務所						
事業所等の所	在地	神奈川県横浜市●●▷	≤ҳҳѭӷ−д					
延床面積		25,000	m <sup>2</sup> 原注 ル:	≜換算エネ ≓∽使用量	6,788	k 1	事業所等の 区分	事務所
エネルギー 管理権限		全て有り	Ŧ	「有形態	所有(才	ーナー)		
- 2 温室効果		- 以下は市内: D排出の抑制に係る	全事業所 回標等	₩が1事	『業所のみの	D場合、 <del>-</del>	省略可能です。 - -	
	特》	<b>記室効果ガス排出</b> 量	(基礎)		エネルギー消費	<b>§</b> 原単位		
基準年度	1	13,193	t-C0 <sub>2</sub>	2	82.71	kl/ 百万r	n-	
2024								
2024 目標年度 ※ 2027	3	10,500	t-C0 <sub>2</sub>	4	80.00	kl/ 百万r	~	

#### 『計 5』シート

個別票

基準年度における原油換算エネルギー使用量が 500kL 以上の事業所ごとに作成してください。

※個別票は縦に配列しており、最大40事業所分の作成が可能です。

2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

※以下は市内にある全事業所が1事業所のみの場合は、省略可能です。

- 基準年度の特定温室効果ガス排出量(基礎)は、「使用量 1,2 シート」から、基準年度 における排出量が反映され表示ます。【入力不要】
- ② 基準年度のエネルギー消費原単位は、『使用量 1,2 シート』の情報が反映され表示されます。【入力不要】
- ③ 目標年度の特定温室効果ガス排出量(基礎)を設定してください。 【入力必要】
- ④ 目標年度のエネルギー消費原単位及び原単位の指標を設定してください。
   【入力必要】

## 第4章 提出書の作成

『提』シート

細則第37号様式の2(第2条第48号の2)
地球温暖化対策計画書提出書兼 地球温暖化対策実施状況報告書提出書
(提出先) 2025年 6月 30日 横浜市長
住所 神奈川県横浜市○○区××町■-△
₩ 株式会社 横浜 田名
代表取締役社長 横浜 太郎
(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)
横浜市生活環境の保全等に関する条例第144条第1項及び第2項の規定により、
別添の通り地球温暖化対策計画書兼地球温暖化対策実施状況報告書を提出します。

## 第5章 評価の確認

'評価』シ	ノート							
評価結果	R							
1 基礎情	青報							
			X	分		門		
事業者名	株式会社 横浜		1、2号	0	業務部門			
評価対象	計画書		3号	0	運輸部門			
2 評価新	告果							
[1 0 P]								
1,251			第一年度	第二年度	第三年度	日標年度		
	項目					(2027 年度)		
計画書	当時日 博介 熱 ウ 42 つ	基礎				в		
		調整後				в		
	基本対策の実施状況及び計画	-				А		
	重点対策の実施状況及び計画	-				A+		
報告書		甘进						

## 『提』シート

計画書等に入力いただいた情報から自動作成されます。記入の必要はありません。 【入力不要】

『評価』シート

入力いただいた報告書、計画書の評価を確認することができます。【入力不要】

## 第6章 作成したデータ等の提出

作成したデータ等を、横浜市電子申請・届出システムで提出してください。

【提出先】

横浜市電子申請・届出システム

https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ ea/residents/procedures/apply/f36a9155-



※電子申請システムで提出できない場合は個別にご相談ください。 連絡先: 横浜市 脱炭素・GREEN×EXPO推進局 脱炭素マネジメント課 計画書制度担当 電話番号:045-671-4224

電子メール:da-keikakusho@city.yokohama.lg.jp

55a0-4517-8e6c-04277908ad9d/start

副本が必要な方は、所定額の切手を貼った返信用封筒を同封の上、紙媒体を窓口へ持参 もしくは郵送してください。